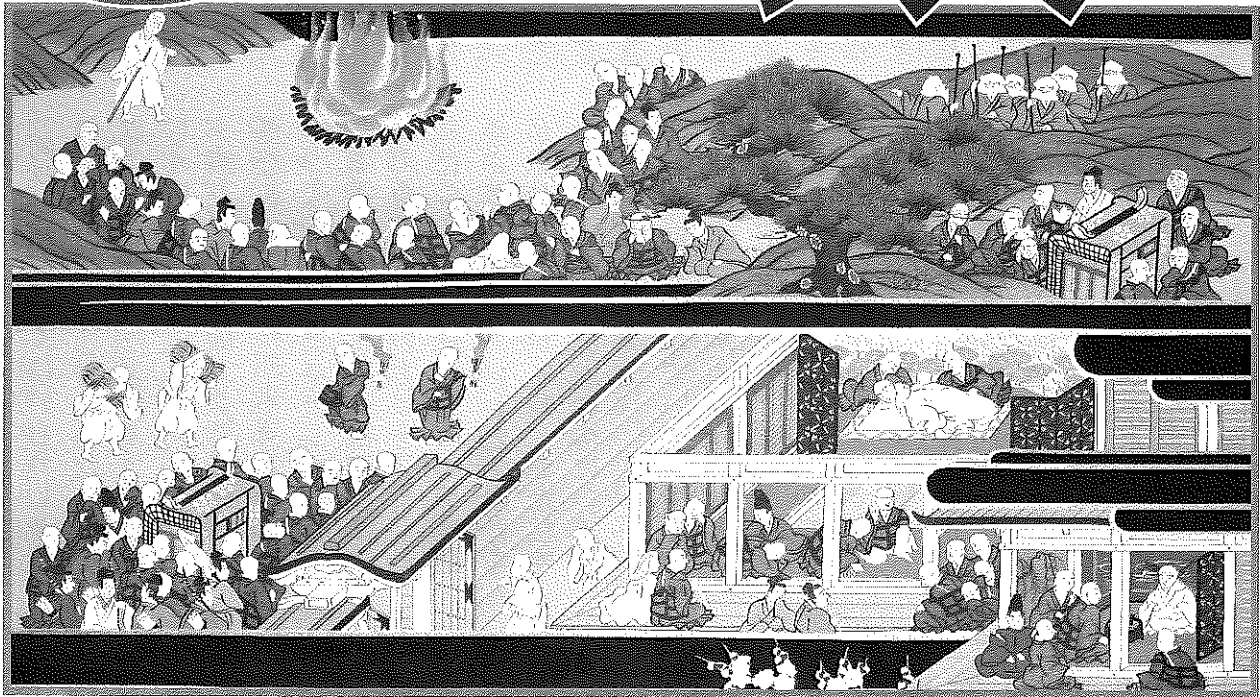


P4・5

特集「浄土真宗の葬儀」

冥福は
祈る？
祈らない？

清め塩は
いる？
いらぬ？



「御絵伝一親鸞聖人のご往生から火葬までのようす」

目次

- P2 — 仏婦総会・研修会
- P3 — 仏教壮年講座
- P8 — 新組長あいさつ
20年度の行事予定
秋の岩手/盛岡・遠野・平泉 旅行案内

P6・7

フォト
アルバム

念仏奉仕団特集

南組仏婦總會・研修部

「千の風になつて」

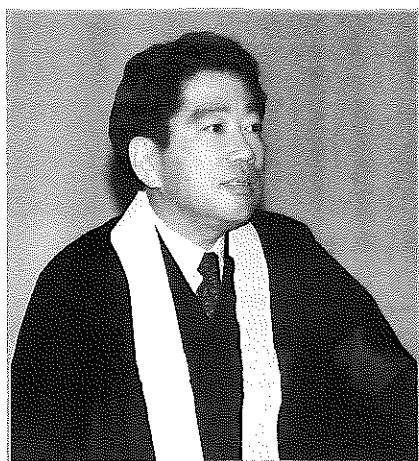
—お浄土からのよびかけ—

講師

中央区・法重寺住職

南條了元師

—「お墓参りはいのちの交流」—



「千の風になつて」は英語の詩「Do not stand at my grave and weep」を小説家の新井満さんが「私のお墓の前で泣かないでください」から始まる日本語に訳し、作曲をつとめた楽曲です。平成十八年の紅白歌合戦でテノール歌手の秋川雅

史さんが歌い、有名になりました。この詩の内容について、ご門徒からも「どのような気持ちでお墓にお参りしたらよいのか」などの質問がありました。

親鸞聖人のお言葉に「弥陀如来は如より来生して、報・応・化、種々の身を示し現じたまふなり」とあり、千変万化して人々を救ってくださる阿弥陀様のおはたらきを味わっていらつしやいます。

『仏説阿弥陀経』には、「西方の十万億仏土を過ぎたところに極楽と名付ける世界がある。そこには阿弥陀仏と申す仏がましまして、今現在も法を説いておられる」と説かれています。また『仏説観無量

寿経』ではお釈迦さまが韋提希に、「阿弥陀仏は遠くにいらつしやるのではない。いつでもあなたのそばにいるんだよ」と答えていらつしやいます。

西方の十万億仏土というのは、いふなれば阿弥陀如来さまの本籍、いつでもあなたのそば（お念仏されるところ）というのは現住所といえるのではないでしょうか。

亡くなった方は、お墓の下に納骨されています。けれども私たちが思わせていた、お念仏する時に、私たちの心の中にいてくださるのです。

お墓にお参りしていた、亡くなった方と私たちのいのちの交流があると思います。自分を育ててくれて、思いやりをくださった人に感謝の気持ちをささげ、お礼を申し上げる。そして今、私たちが生かされて意義深い毎日を送らせていただいている。それはすべて阿弥陀如来さまのお浄土からのよびかけ・はたらきによつて、私たちも目覚めさせていたただいているのです。

〔二〇〇七(平成十九)年六月十四日
築地本願寺・ブリストホール 参加八十六人〕

南組のお寺

西光寺

品川区大井4-22-16
☎3777-6070

最徳寺

大田区大森北3-18-25
☎3761-6811

徳浄寺

大田区大森東1-16-22
☎3761-4127

厳正寺

大田区大森東3-7-27
☎3761-4945

久宝寺

大田区本羽田3-17-1
☎3742-0886

海岸寺

大田区本羽田3-17-6
☎3742-0921

福泉寺

大田区萩中3-27-10
☎3742-2048

光教寺

大田区中央4-35-3
☎3771-9408

専浄寺

世田谷区等々力6-7-10
☎3701-4753

報身寺

大田区萩中1-11-16
☎3738-0870

正覚寺

大田区萩中1-13-13
☎3731-9212

延徳寺

大田区萩中1-12-17
☎3732-1472

福称寺

大田区萩中1-12-20
☎3738-1720

南組仏壯講座

「お念仏の教え」

講師

横浜市・青葉布教所西法寺住職

西村 信也 師

「悲しみは大切な仏縁」

蓮如上人が書かれた「白骨の御文章」というお手紙があります。ご葬儀の時にもよく読まれます。

大切な人との死別の悲しみは誰しも経験することですし、時には我が子を先に見送らなければならぬ人もいます。「朝には紅顔ありて 夕には白骨となれる身なり」



というお言葉は、いのちのはかなさを忘れがちな私たちの胸をつきます。

それと同時に蓮如上人は、はかないのちであるという厳然たる事実をどのように乗り越えていけばいいのかという仏教の智慧を示して下さっています。「たれの人もはやく後生の一大事を心にかけて 阿弥陀仏をふかくだのみまいらせて 念仏申すべきものなり」というお手紙の最後の一文を注意深く考えさせて頂きましょう。

後生の一大事とは、仏となる道を歩むことをいいます。その道を歩むことが、人として生まれてきた本懐を遂げることです。夏の蟬は夏を知らないといわれるように、

後生を知らない人は、人として生きていく本當の価値を見いだすことはできません。後生を大事に生きることは、今生を大事に生きることにつながるのです。

後生大事と心にかけて生きてゆくと、人生の見え方が大きく変わります。

たとえば、大切な人との死別の悲しみは、ただ私を苦しめるだけのものではなく、私の人生の本當の価値を見いだす大切な出来事でもあつたと、受け止めることができるようになります。

「その悲しみこそが、仏様の教えを聞くよい縁となつた。ようこそ」と。

人生がうまくいっているときは、傲慢となつて我がはからいをふりまわします。私にはどうすることもできない悲しみに出遇つたときこそ、必ず仏にすると誓われた阿弥陀如来のお心を、はからいなく素直に聞かせて頂く大切な仏縁となることを蓮如上人は「白骨の御文章」で私たちにお伝え下さつたのです。

〔二〇〇七年平成十九年十月十三日 築地本願寺・瑞鳳 参加九十一人〕

妙覚寺 大田区萩中1-12-29 ☎3738-3091

善永寺 大田区萩中1-11-24 ☎3739-5641

真光寺 大田区萩中1-13-6 ☎3731-5644

浄興寺 大田区東矢口2-10-9 ☎3759-8673

唯称寺 品川区小山4-9-15 ☎3782-2486

宗導寺 目黒区目黒本町6-19-3 ☎3712-6811

西教寺 品川区豊町1-8-12 ☎3781-6154

善照寺 大田区南馬込4-9-11 ☎3771-8700

永正教会 目黒区鷹番2-17-5 ☎3714-0767

敬吊

報身寺住職

本多 玄城師(七十六歳) 平成十九年二月二十八日

厳正寺前住職

北條 祐寿師(八十三歳) 平成十九年三月三十日

真宗教室

特集「浄土真宗の葬儀」

家族や友人、知人など、身近で大切な人の葬儀。弔辞や弔電、挨拶の言葉、使い、焼香の作法など、皆さんは浄土真宗の門徒としての振る舞いは大丈夫ですか？安易に例文を用いたり、前の人の作法を真似したりしていませんか？今回の真宗教室は浄土真宗の葬儀についての特集です。ご参考にしてください。大切な人の死を意義あるものにしていただければと思います。

冥福は祈らない

○昨年四月に行われた総代・世話人研修会で、光教寺の藤澤正徳住職が、「身近な葬儀意識と真宗の場合」と題して講演しました。

浄土真宗と他宗派では、葬儀について思いや立場にいくつかが違いがあります。

平成十八年に私の父がなくなった時の弔電を整理していますと、真宗関係の方からは、「ご往生の報に接し、心より哀悼の意を表します」や「今生でのお別れはさぞかしおさびしい事と存じ上げます。南無阿弥陀仏」など、往生やお念仏の内容に触れた言葉をいただきました。ここでの今生は、浄土でもに遇えるという俱会くわい一処いっしょの意味が含まれています。

しかしながら、真宗関係者以外の方からは、

「冥福をお祈りいたします」や「安らかにご永眠されますよう」などの言葉が大変多くありました。冥福というのは冥途の幸せ、あの世の真つ暗な世界で幸せになってほしいという思いからの言葉だと思えます。

また、ある仏教の宗派が作った追悼文集を見ますと、「天国にいつても忘れないでね」や「天国から見守って下さい」という言葉が多く書かれています。

こうした所に日本人の宗教意識が反映されています。

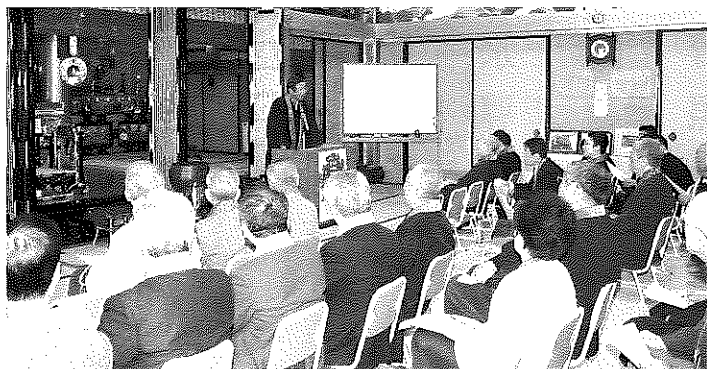
仏教徒といえども、真宗の我々といえども、「天国」や「永眠」などの言葉が普通に使われてしまう現状があります。仏教徒は仏教徒としての死の意味を学び、正しい言葉の意味合いと

使い方を私たち一人一人が実践していくことが大切です。それでは私たちが死んだらどうなるのでしょうか。

一般的には、道徳的な理解から地獄や極楽に分けられて考えられがちですが、真宗のみ教えをいただく私たちは、阿弥陀様のおはたらきにより、みんなお浄土に往生し、仏として生まれかわっていくのです。そして仏とならせていただいて、この世界に還り、

迷い苦しむ凡夫を導くのです。

死はつらく悲しいことですが、冥福を祈ったり、永眠をお願いしなくてもいいのです。死という悲しみの中においても安堵のご法義をいただきたいことを味わっていたきたいと思います。



気をつけてほしい言葉

✕ ふさわしくない言葉

○ ふさわしい言葉

ご霊前

ご仏前・ご尊前

祈る

念ずる

冥福を祈る

哀悼の意を表する

戒名

法名

安らかにお眠り下さい

お浄土から私たちをお導き下さい

天国へ召される

浄土に往生する

草場の陰

お浄土

告別式

葬儀

追善供養

追悼法要

葬儀とは

浄土真宗の葬儀は、亡き人を偲んで、単に別れを告げる儀式ではありません。葬儀に参列する私たち自身がいのちの尊さを知らされ、かけがえのない人生を大切に生きる心を教えられる場です。そして何より私自身がお念仏の教えに出遇わせていただき、迷信や俗信に振り回されない生き方を送るための仏縁なのです。

葬儀にまつわる迷信・俗信

● 清め塩はいらない

清め塩は、「死は穢れ」という考えから、それをはらい清めるために行われた習俗が一般化したものです。清め塩を用いることは、私たちの大切な人、身近にいた人を穢れたものとみるような行為ではないでしょうか。

● 友引は関係ない

友引の日に葬儀を行ってもまったく問題はありません。単なる語呂合わせで「友を引く」との連想から葬儀をしない習俗がありますが、宗教的な根拠のない迷信です。もともと六曜と仏教は関係がありません。

● その他にも...

守り刀、忌中札、一膳飯、茶碗割り、旅装束、お棺をぐるぐる回す、火葬場への行きと帰りの道を変えるなど、まだたくさんありますが、それらは亡き人を穢れとみなす考え方です。気をつけましょう。

お焼香の仕方

ワンポイント

お焼香は、正面に一礼した後、お香を一回だけつまんで香炉に入れ、合掌、念仏、礼拝をします。何回もつまんだり、香を額へいただいたりしません。また線香は適当な長さに折って横にして供えてください。香炉の灰に立てるのは間違いです。



いざ葬儀となったら、まずお寺に連絡して、日取りなどを相談しましょう。

わからないことがあついたら、気軽に尋ねてください。

特集フォト アルバム

念仏奉仕団



▲タスキを掛けて総御堂の内外や、
桜満開の百華園を清掃。
みんな頑張りました ▼



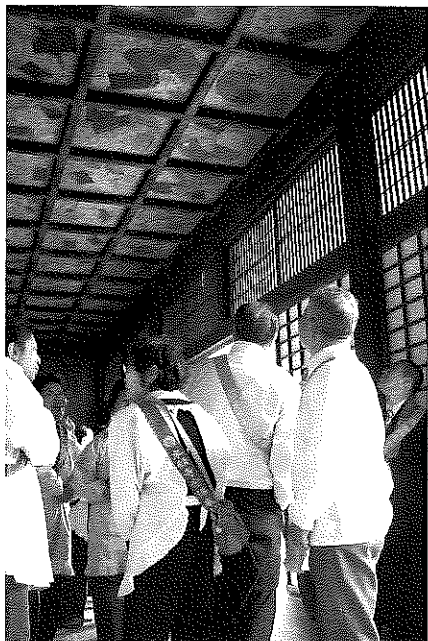
▼引率の若院も



▶宿泊先の閻法会館で
夕食を堪能。かる〜く、
一杯しちゃいました



◀普段はなかなか入ることの出来ない書院や
飛雲閣を拝観。国宝や重要文化財の散々に
目を奪われました ▼



南組では昨年四月四日から一泊二日の日程で、京都のご本山(西本願寺)で行われてい
ます念仏奉仕団に参加しました。この奉仕団は、本山で清掃奉仕を行うことで「愛山護
法」の思いを深めてもらうおつと、毎年行われ五十年以上も続けられている行事です。今回
南組からは二十四人が参加し貴重な体験をしました。その様子を写真特集とごつと。



▲午前6時。荘厳な総御堂で、さわやかに朝のおつとめ



▲ご門主との記念撮影。少し緊張ぎみ

主な日程

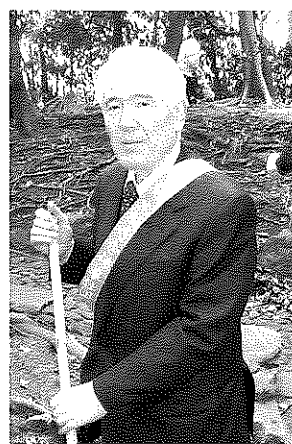
一日目
 十三時 集合受付、日程説明
 十四時 総御堂で開会式
 十四時二十五分 総御堂内外の清掃奉仕
 十五時二十分 抹茶接待、書院・飛雲閣拝観
 十八時 間法会館で夕食・就寝

二日目
 六時 晨朝参拝・帰敬式
 九時十五分 ご門主との記念撮影とご面接
 九時四十五分 百華園の清掃奉仕
 十時三十分 法話
 十一時十五分 閉会式、解散

念仏奉仕団には、平成二十二年も参加する予定です。

「念仏奉仕団に参加して」

清掃の様子と国宝の数々に感動



今般の念仏奉仕団には、全国各地から約三百人が集まり、南組からは二十四人の参加でした。

一日目は、本願寺会館で日程説明を受けて、早速「念仏奉仕団」と書かれたタスキを掛けて、清掃姿に身を整えました。総御堂での開会式に続いて、総御堂内外の拭き清掃が一斉に行われ、あまりの熱心さに驚きました。

終了後、鴻の間に移り、本願寺ゆかりのお菓子「松風」をいただき、お抹茶の接待を受けました。書院の拝観では、八方脱みなど、滅多にない縁に接して参りました。京都三名園の一つである国宝「飛雲閣」を見学させていただきました。

宿舎となった間法会館に戻り、湯に浸かり、夕食後、心地良い眠りに就きました。

翌朝は総御堂で晨朝法要に引き続き、ご門主様によって、帰敬式が執り行われ、全体で百十一人、南組からは四人が受式し、法名が授与されました。お剃刀の重さが頭にいつまでも残る、厳肅この上ない帰敬式でした。

花冷の御堂の誓い おかみそり

また百華園で同行の方々とお念仏を申しながらの清掃は、終わった後の清々しさが素晴らしいものでした。各団体に分かれてのご門主様との記念撮影は、緊張の一瞬でした。ご消息にも、「念仏奉仕団とお朝事での正信偈は、本願寺の宝である」と、述べておられます。仏恩に感謝申し上げますと共に、皆様のご参加をお勧めします。

善照寺門徒 山田 恵一 (六十六歳)

新組長挨拶



海岸寺 桜井 寛明

この度、南組組長を拝命いたしました海岸寺の桜井寛明でございます。若輩の身ではありますが、精一杯組活動に取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

宗門では来る平成二十三年に親鸞聖人七百五十回大遠忌法要という大きな行事がございます。南組におきましても大遠忌円成に向けて僧侶・ご門徒共々に氣運を高めて参りたいと存じます。お力添えのほど何卒よろしくお願い申し上げます。

親鸞聖人750回大遠忌の円成を

20年度の主な行事予定

■ 仏教婦人会総会・研修会

6月13日(金) 午後1時30分

会場 ▼ 築地本願寺

■ 仏教壮年講座

10月4日(土) 午後6時

会場 ▼ 築地本願寺

10月15日から17日の日程で団体参拝旅行を企画しました。たくさんのご参加をお待ちしています。

秋の岩手

盛岡・遠野・平泉

宮沢賢治も愛した

“理想郷”を体感しよう

■ 主な日程 ■

10月15日(水) 東京発 → 親鸞聖人ゆかりの寺院、盛岡市の本誓寺などを参拝 → つなぎ温泉泊

16日(木) 宮沢賢治記念館、遠野ふるさと村など観光 → 花巻温泉泊

17日(金) 平泉にある奥州藤原氏ゆかりの中尊寺、毛越寺など参拝 → 帰京

※詳しくはお寺まで



● 遠野ふるさと村 ●

昨年放送のNHK朝ドラ「どんど晴れ」でもお馴染みのどかな風景に癒されましょう。



● 中尊寺の経蔵 ●

金色堂など数々の国宝・重要文化財を堪能しましょう。

